

一般社団法人日本産業機械工業会 プラスチック機械部会からのお知らせ  
**射出成形機の火災事故防止にご協力願います**

一般社団法人日本産業機械工業会 プラスチック機械部会(以下 産機工プラスチック機械部会) から、射出成形機を安全にお使いいただくためのお知らせが発信されています。火災事故の発生防止にご協力賜りたく、以下の通りご連絡いたします。

➤ **産機工 プラスチック機械部会からのお知らせ**

射出成形機のノズル部に固着したプラスチックを剥がすためにバーナーで炙ったことによる火災事故の発生がありました。

今後、同様の事故が発生しないよう、射出成形機をお使いの皆様に向けて、安全にお使いいただくための注意点を以下にまとめましたので、火災事故の発生防止にご協力をお願いいたします。

- ① プラスチックには高温になると発火するものがあります。お使いのプラスチックの安全データシート(SDS)の内容を熟知することが大切です。特に「火災時の措置」「物理的及び化学的性質」「安全性及び反応性」は必ず確認してください。
- ② ノズル部にプラスチックが固着しないよう、普段からプラスチックが漏れていないか確認するとともに、こまめに清掃してください。また、漏れを防止するために、ノズル芯の調整、ノズル先端やスプールプッシュが破損していないかを定期的に点検してください。
- ③ 固着したプラスチックが剥がせない場合は、射出成形機に備え付けのヒーターの熱でプラスチックを軟らかくしてから取り除いてください。  
このとき、射出成形機の中にあるプラスチックを加熱しすぎると、分解してガスが発生することがありますので、安全データシートに記載されている保護具を装備するとともに換気を行うなどして、ガスを吸い込んだり目に入ったりしないよう、十分に注意してください。
- ④ ヒーターの熱でもプラスチックを剥がせなかった場合は、ノズル部を射出成形機から取り外して清掃作業をしてください。
- ⑤ 射出成形機からノズル部が取り外せない場合は、周囲に可燃物がないことを確認の上、アイロンやホットカッターなどを使って外部から加熱しながら、固着したプラスチックを徐々に取り除いてください。
- ⑥ 以上のような手順を踏んでも取り除けず、やむを得ず、バーナーなどの裸火で加熱を行う場合は、火災が発生する危険が高いため、防火措置として安全データシートに記載されている消火剤や保護具を準備し、周囲に可燃物がないことを確認の上、必要最小限の加熱にとどめてください。